

ヨードニトロテトラゾリウム塩化物

Cat. No. CSUB-0341

Lot. No. (See product label)

はじめに

用途

電子受容体 色素定量アッセイ用のさまざまな脱水素酵素に用いて、ヨウ素ニトロテトラゾリウム (INT) は、還元時に紫色のフォルマザン染料を形成するテトラゾリウム染料前体であり、さまざまな用途で使用されています。これは、少なくともコハク酸脱水素酵素に関して、いくつかのテトラゾリウム化合物よりも高い反応性を持つと考えられており、0.8 mMのINT濃度を使用することで最適な結果が得られます。INTは、乳酸脱水素酵素、キサンチン脱水素酵素、乳酸コエンザイムA脱水素酵素、コハク酸脱水素酵素、BBM II ケト異性化酵素、ヒスチジン脱水素酵素、その他の多量加水分解酵素の色素定量アッセイの電子受容体として使用されます。

別名

2-(4-ヨウ化フェニル)-3-(4-ニトロフェニル)-5-フェニル-2H-テトラゾリウム塩化物; p-ヨウ化ニトロテトラゾリウムバイオレット; INT

製品情報

EC番号

205-676-2

CAS登録番号

146-68-9

分子式

C₁₉H₁₃ClIN₅O₂

分子量

505.70

溶解度

メタノール: 水 (1:1): 溶解 50 mg/mL, ごくわずかに濁り、非常に濃い黄色 (加熱)

融点

240 °C (dec.) (lit.)

基質

ラクティル-CoA デヒドロゲナーゼ